



▲震災後の消防団員による市民への給水の様子。東海地震後もこういった光景が...



▲1家族4人として、1日に飲料水が12リットル必要になります。

◇落下物は、床におろしましょう

タンスの上にある物は、事前に床に降ろしましょう。倒れやすい家具の周囲から離れ、家具についても固定しておきましょう。

◇飲料水を確保しましょう

1人1日3リットル、3日分は必要です。

◇非常持ち出しの準備をしましょう

重要な物を今一度確認しておきましょう。

◇安全な部屋を決めておきましょう

家の中で一番安全な部屋で待機しましょう。山、崖崩れの恐れがある場所は、安全な場所へ移動しましょう。

また、ブロック塀や窓ガラスには近づかないようにしましょう。

◇自分の命は自分で守る、自分の地域はみんなで守ろう

防災の基本は第1に自分の身体は自分で守ることです。次に家族を守り、近所を守る。

大地震の発生直後は、消防車や救急車がすぐに駆けつけることができません。みんなで助け合うことが大事です。

また、自主防災組織や自治会の役員の皆さんはチームワークで地域を守りましょう。

今一度、家庭や地域で災害に対する備えを再点検し、大規模災害に備えましょう。

地震 その時の10のポイント

- ① グラツときたら身の安全
- ② すばやい消火、火の始末
- ③ 窓や戸を開け、出口を確保
- ④ 落下物、あわてて外に飛び出さない
- ⑤ 室内のガラスの破片に気をつけよう
- ⑥ 協力しあって救出・救護
- ⑦ 門や塀には近寄らない
- ⑧ 確かめ合おう、我が家の安全、隣の安否
- ⑨ 避難の前に安全確認、電気、ガス
- ⑩ 正しい情報、確かな行動

防災安全課
内線 275